

日本共産党 みなさんと一緒に要求

特養老人ホーム79床増えます

日本共産党は一貫して特別養護老人ホームの待機者の解消などを求めています。日本共産党の猿渡（えんど）久子市議は、12月市議会一般質問で、介護保険や高齢者の支援について質問しました。

特養ホームの待機者500人

待機者については「特別養護老人ホームの待機者は市内で約500名。その内すぐに入所が必要と思われる要介護3以上の在宅の方が100名常時いる。入所までに3年程度かかっている。養護老人ホームの待機者は約100名、入所までに2〜3年」と答弁。

日本共産党市議団
は2013年もみなさんの声を届けてがんばります
ご意見ご要望をお寄せください



26年度までに2か所新設

えんど市議は「特養老人ホームの増床・増設の計画は」と質問。

「第5期計画で増床する。特別養護老人ホームを26年度までに2か所新設し79床増床となる」と答弁がありました。

包括支援センターの中立性を

また、えんど市議は「地域包括支援センターの機能を強化し中立性を高めることが必要。直営が望ましい」と質問。

「24年度より3職種3名体制から3職種4名以上体制へ強化した。場所も名称も変更するよう指導している」と答弁。えんど市議は「最低でも担当課の職員の充実が必要」と求めました。

高齢者の外出支援を

また、えんど久子市議は、「ワンコインバスなど高齢者のため何らかの外出支援が必要だ」と求めました。

「公共交通機関各社との調整などの課題がある。課題の解決に向け、実施されている他市の状況と別府市の特性をふまえ、今後さらに検討していきたい」と答弁がありました。



日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.537
2012. 12. 26.

保育所の定員を増やして

待機児童205人も

えんど久子市議は、保育所の入所や待機児童について質問。

「12月3日の状況は、入所児童は2224人、充足率120.22%。国の定義による待機児童

はゼロだが、特定の保育所を希望して待機している児童は205人。最も多い園は26人待機している」との答弁でした。

待機児童の解消を

えんど久子市議は「希望する園へ入所できるように、待機児童解消に向け保育所の定員増をすすめるべき。また、施設の改修や保育所の新設、保育士の待遇改善も必要だ」と求めました。

市は「保育所の定員は本年度は1850人で、昨年より25人増えた。来年度も複数の保育所が

定員増を予定している。可能な限り定員増を図るよう今後も働きかけていきたい。保育所の新設は一朝一夕にはいかないのでは。保育士の待遇改善については国に要望したい」と答えました。



保育料の減免制度充実を

保育料の負担を軽くする「にこにこ保育支援事業」について、えんど市議は「第2子半額免除を実施する市は県下11市あり、別府市でも実施すべき。認可外保育所も対象にすべき。不安定雇用が増えるなか大事だ」と求めました。

市は「まず、受け入れ

体制の整備を先行すべきと考える。保育料の減免措置の必要性、認可外保育施設の重要性は十分認識している。少子化対策の一環として有効な支援策であり、保育所の受け入れ状況を勘案しながら検討していきたい」と答弁しました。



日本共産党市議団のHPや、えんど久子のHP「はっぴーえんどどっとねっ」とをぜひご覧下さい。